

全学的視点から見た 金沢大学附属病院の 改革について

金沢大学長 和田 隆志

2026/8/5 今後の国立大学附属病院施設の在り方に関する調査研究協力者会議

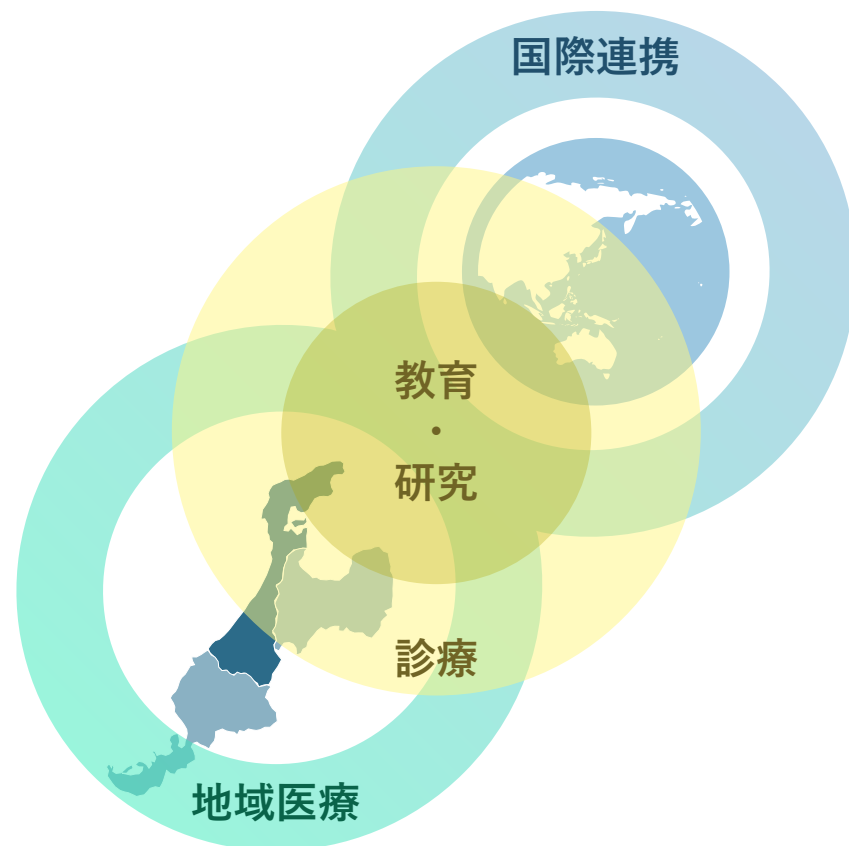
大学附属病院は、一般病院と連携して地域医療を支えながら、
より高度な診療や医療人材の教育・研究を担う

金沢大学附属病院 基本理念

最高の医療を提供するとともに、人間性
ゆたかな優れた医療人の育成に努めます

金沢大学附属病院 基本方針

- 質の高い最高水準の**医療**を提供します
- 個人の尊厳を守り医療安全文化を醸成します
- 将来の医療を担う医療従事者を**育成**します
- 臨床医学発展のための**研究開発**を推進します
- **地域医療**に貢献します



大学と附属病院の改革を一体的に進めている
その基軸は研究・教育・診療の一体化である



北辰（北極星）

基本
理念

地域と世界に開かれた
教育重視の研究大学

未来ビジョン「志」

オール金沢大学で「未来知」
により社会に貢献する



Aspiration

揮毫：和田隆志

附属病院改革プラン

人の幸福に医療で貢献することを原点とし、
地域に愛され世界で輝く金大病院

医療人材
教育研究センター

金沢学術アカデミー

研修医・専門医
総合教育センター

国際臨床研修
センター

先端医療開発
センター

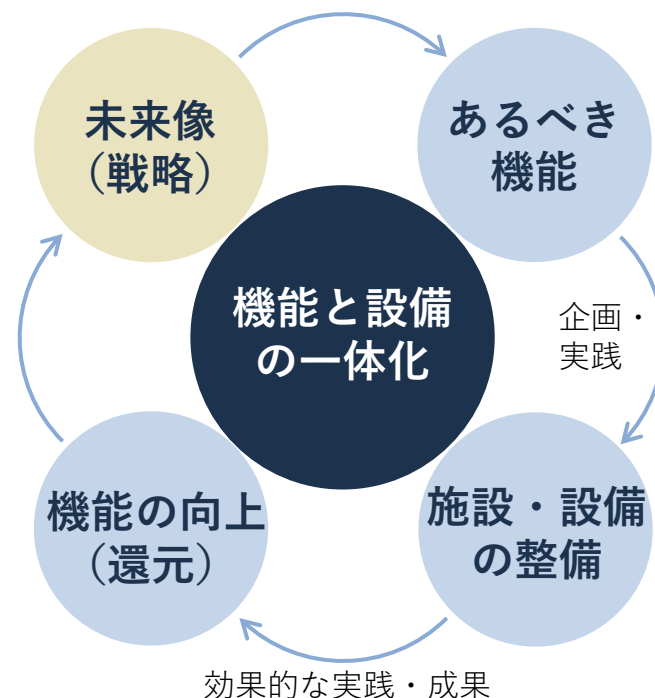
総合診療
共創センター

第2中央診療棟
(2024年3月全面供用開始)

コアファシリティ

附属病院

“組織は戦略に従う”



85の関連病院群ネットワークを基盤に、 持続可能な広域地域医療体制の将来像を描いている

地域医療と大学病院が直面する課題

- 深刻化する地域医療の課題
- 地域医療への貢献
6府県100医療機関に
1,269名の常勤医師を派遣
(2025年9月末時点)
- 能登の復興と国際医療連携の強固な推進

広域医療連携モデル構想「KNOT」

Kanazawa Nexus for Optimized Team-based Care

- 結び目 (KNOT)
-金沢に根付く結ぶ文化を背景に込めた意味-
- 構想の目的
持続可能な広域地域医療体制の確立
- 地域ならびに国際ネットワーク展開

揺るぎない基盤

85の関連病院群ネットワーク

【地域連携：遠隔医療】
Beyond Telemedicineの構築

【人材：KNOTを支える基盤】
高度医療人の養成

【DX・研究：大学病院らしさ】
大学病院としての機能高度化

【経営・ガバナンス】
持続可能な運営基盤の確立

→ 国際的な繋がりをもつ先進医療中核拠点へのさらなる飛躍

教育：多職種連携を育むシームレスな教育

多種多様な医療人材に対してシームレスな教育を提供している

次の世代を育成し 地域と世界の医療を担う

① 未来像（戦略）

■ 未来ビジョン「志」

国際社会の中核的リーダーたる“金沢大学ブランド人材”の輩出

■ 附属病院基本方針

将来の医療を担う
医療従事者を育成します

■ 附属病院改革プラン

研修医から専攻医まで継ぎ目なく研修できるよう支援し、臨床研修医及び専門医を養成する

■ 広域医療連携モデル構想「KNOT」

85の関連病院群ネットワークを基盤に、高度医療人を養成し地域へ輩出する

② あるべき機能

■ 高度な診療に参加できる臨床実習の場の提供

■ 多職種連携・チーム医療の実践

■ 生涯にわたる研鑽

■ 人が循環する研究指導体制

■ 卒後キャリアの支援

③ 施設・設備の整備

■ 教育提携医療機関（58機関）



■ 金大病院CPDセンター 外来診療棟4階（2013年） 高度医療トレーニングができる環境の整備



■ 研修医・専門医 総合教育センター 外来診療棟4階（2016年）

④ 機能の向上（還元）

■ 医療人材教育研究センター （2023年設立）

学生から教職員まで多職種の医療人材の卒前・卒後一貫した育成

■ 金沢学術アカデミー （2024年設立）

基礎研究を理解し国際臨床研究を推進できる臨床研究医の養成

■ 研修医・専門医 総合教育センター （2016年設置）

人間性豊かな優れた医療人の育成

金沢学術アカデミー（2024年設立）と研修医・専門医総合教育センター（2016年設置）が 卒前～卒後キャリアと研究医養成を切れ目なく支える



（医学類C棟1階）

目的

- 基礎研究を理解し国際臨床研究を推進できる臨床研究医の養成
- 研究者の研究時間確保による医師の働き方改革の実現



人が循環する持続可能な研究
指導体制・研究環境の構築

登録者：1,045名
（学生・大学院生など）
（2026.7時点）

部門

金沢大学 金沢学術アカデミー

人材バンク部門
（人材管理）

教材開発部門
（e-learning開発）

トレーニング部門
（研究技術教育）

金沢医科大学

連携校



（外来診療棟 4 階）



センターの役割

- 患者本位の医療の実践を学ぶ
- 高度先進医療の開発と実践を学ぶ
- 経験豊かな指導医による充実した教育体制

キャリア形成の支援

- 臨床研修から専攻医、そして専門医取得まで、シームレスで円滑なキャリア形成支援
- 専門医資格や学位取得、高度な専門技術の修得のサポート
- 各診療科と連携したサポート
- 臨床研修医海外研修プログラム

研究：診療と基礎・臨床研究との好循環

臨床上の課題を研究で解明し、成果を患者へ還元する

研究者が集い、我が国の医学研究を牽引する

① 未来像（戦略）

■ 未来ビジョン「志」

独創的な世界トップレベルの研究展開による世界的研究拠点群の拡充

■ 附属病院基本方針

臨床医学発展のための研究開発を推進します

■ 附属病院改革プラン

基礎研究の成果を活かした難治性疾患の診断・治療法、新薬の開発等の先進医療に取り組み、我が国の医学研究を牽引する

② あるべき機能

■ 診療と研究の往還

書かれた医学は過去の医学である。目前に悩む患者の中に明日の医学の教科書の中身がある。（沖中重雄先生）

■ 研究基盤の共用と技術支援

■ 一気通貫の臨床研究支援

■ 研究費支援と治験受入体制

③ 施設・設備の整備

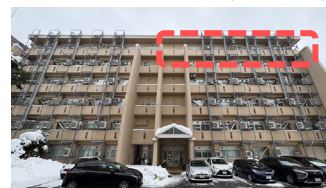
■ サイエンスcommons

医学類C棟1階



■ Fusion Lab

医学類D棟6階（269㎡）



■ 先端医療開発センター

1999年設置→2013年改組
病院敷地内の独立棟

④ 機能の向上（還元）

■ 大学院生・研究者の“研究時間”の確保

■ データの一元管理と活用

AI・データ駆動型研究の加速

■ 臨床研究の全院展開

診療現場の課題を研究シーズとして掘り起こす仕組みの院内全診療科への拡大

■ 先端医療開発センター

基礎研究・立案・倫理審査・実施品質管理・社会実装
専門家による10部門体制

全学をあげたヒト・モノ・コトをつなぐ 研究・施設：サイエンスコモンズ／Fusion Lab

全学の共用機器・研究開発マネジメント人材の結集が
大学院生・研究者の“研究時間”を確保するとともに、医学系研究を加速する

金沢大学附属病院

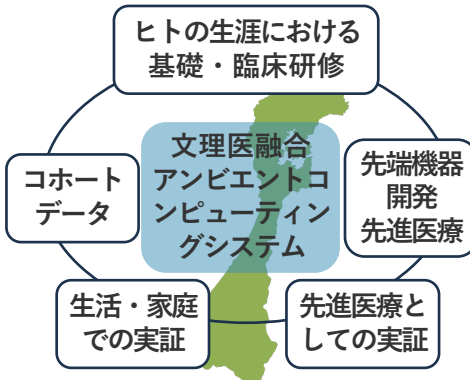
診療・臨床データの供給

50 年分

バイオバンクの臨床予後付帯データ

- 臨床データの集積
- 志賀町コホート（2011年～）
- 遠隔医療で結ぶ地域診療連携

成果を患者へ還元する



臨床上の
課題を研究
で解明する

臨床データ
症例・課題

先進医療の
実証・応用

基礎研究から
融合研究へ

Fusion Lab

基礎研究・臨床研究の融合

269 m²

医学類D棟6階

- 基礎医学と臨床医学の連携・協働
- 生命科学 × AI・データ駆動型研究
- AMED 医学系研究支援プログラム採択（2025年）

成育

脳

老化

重点3領域



支援ニーズ

研究支援

技術・機器
データ支援
人材育成

サイエンスコモンズ

全学の研究基盤共創

4 ユニット

医学類／病院の一体運営
2026年 設置

- 大学院生・若手研究者の育成と時間確保

トレーニング
実行

データ/AI
利活用

機器・設備
共用

資料
コレクション

- ワンストップ相談窓口の設置
- 受託解析・受託技術支援



教育・研究を通して国際医療レベルの向上に貢献する。
海外での研修と海外からの受入の双方向で、“国際頭脳循環”の拠点を目指す。

【受入】金沢大学附属病院

■ 国際臨床研修センター (外来診療棟2階)

- 外国人医師等の受入れ（臨床修練）
- 病院見学の受け入れ



2025年10月15日
ベトナム視察団18名来院

- 海外の医学生を受入れ
- 先端医療開発センター

強固な
連携

【派遣】海外派遣・海外研修プログラム

■ 医学類公式海外派遣 プログラム

- 選択臨床実習海外枠
- ニューヨーク医学研修
- 医学臨床COILプログラム など



ワイカト病院の病棟にて
(ニュージーランド)

■ 臨床研修医海外研修 プログラム

- ニューヨーク海外研修



Children's Hospital at
Montefiore

向上した機能による診療・教育研究の前進

高度先進医療の提供に加え、“教育・研究の場”として位置付けた 施設整備を実践している

第2中央診療棟（2024年3月全面供用開始）



術中MRI



血管造影が可能な
ハイブリッド手術室

■ 高度先進医療の提供

手術室の増加
感染症患者への手術対応

■ がん医療提供体制の強化

■ 教育・研究の場

術野の3Dモニター画像を術者・
多職種スタッフ・医学生が同時
に共有する



手術増
の対応

集約

既存の施設

東病棟の改修（予定）

NICU（新生児集中治療管理室）
GCU（回復治療室）エリアの拡充
HCU（ハイケアユニット）の新設

外来化学療法センター

集約・強化

患者サポートセンター

（2024年4月設置）

■ PFM（Patient Flow Management）機能の強化

多職種連携による入院前から退院後
まで一貫した支援

医療：能登復興と地域医療との一体展開

地域に愛される病院として、地域医療との一体展開を進める

地域からの信頼による未来像の実現

① 未来像（戦略）

- **未来ビジョン「志」**
能登の教育、医療、文化、産業の復興・再生そして継続的発展を強力に推進する
- **附属病院基本方針**
地域医療に貢献します
- **附属病院改革プラン**
能登里山里海未来創造センターとの連携により、能登地域における医療提供体制の維持に貢献する
- **能登里山里海未来創造センター理念**
「地震・災害に強く安全・安心で、だれもが住みよい、文化薫る地域・まちづくりとひとづくり」に寄与し、令和6年能登半島地震の被災地の復興に資すること

② あるべき機能

- **医師確保・人材養成**
- **能登里山里海未来創造センターとの連携**
(2024年1月30日設立)
復興のための中心的な役割
 金沢大学
能登里山里海未来創造センター
Noto Resilience and Revitalization Center
- **遠隔医療による連携**
- **総合診療医の育成**
- **石川県等の自治体との連携の強化**

③ 施設・設備の整備

- **遠隔診療実証ラボ**
未来知MITSUKEプロジェクト（珠州市）

- **総合診療共創センター**
外来診療棟3階
総合診療 ×
個性豊かなSpecialtyの融合
- **能登地域サテライト拠点**
10拠点（うち5拠点は震災後の新規整備）

④ 機能の向上（還元）

- **遠隔と対面を組み合わせた地域医療モデルの実証**
- **地域医療をフィールドとした学び**
- **総合診療医の育成の場**

- **特別枠学生・卒業生の定着支援、リカレント教育**

医療：能登と金沢を結ぶ

石川県等の自治体や地域基幹病院等と連携し、地域医療との一体展開を進めている

北陸地方における 附属病院の役割

- 医師確保・人材養成
- 中核的医療機関
- 石川県医療計画等の政策形成への参画



いしかわ診療情報 共有ネットワーク (いしかわネット)

- 医療機関・施設との間で患者さんの診療情報を共有する仕組み

総合診療共創センター (外来診療棟 3F)



未来知MITSUKEプロジェクト

珠洲市宝立町鵜島地区

見附島
(軍艦島)

見附公園噴水広場・BBQ広場

オフグリッド
コミュニティ

遠隔診療実証ラボ

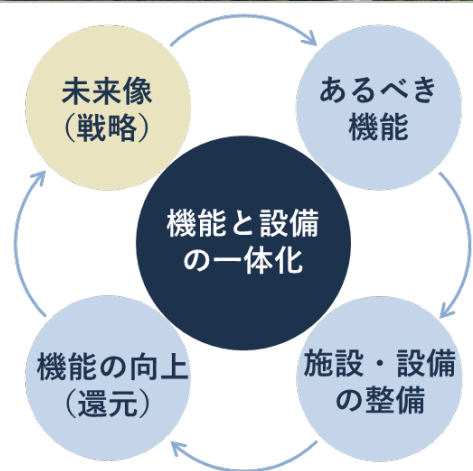


▼ 拠点建築が進んでいる



全学的視点から見た金沢大学附属病院の改革 “組織は戦略に従う”

基本理念「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」



「未来知による社会貢献の実現」に向けて
大学と附属病院が一体となった改革を
「オール金沢大学」で取り組んでいきます